



福島県いわき生徒会長サミット ふるさとのこれからを担う中学生たち ～ ワンコイン・スクールプロジェクト タイ・ファイコン中学校完成 ～

東日本大震災後の2011年7月から、福島県いわき市の44の中学校が参加する「いわき生徒会長サミット」が発足しました。被爆地・長崎や、隣国である韓国との交流、ヤング・アメリカンズ(注)・・・多彩な活動の中で、約1万人の中学生全員が取り組み、世界に感謝と元気を発信することができる活動として、タイ山岳地帯の中学校舎建設を支援する【ワンコイン・スクールプロジェクト】への参加が2012年4月に決議されました。

それから2年・・・目標支援額の達成率は現在61%ですが、2013年秋、タイ・ファイコン中学新校舎(3教室)が竣工しました。タイの中学生は、自分達の新しい学校を「いわきフレンドシップスクール」と名付けて待望の新校舎で勉強しています。先生方も学校に住み込み、熱心に寮生の世話をしています。

(注)「若者の素晴らしさを音楽によって社会に伝えよう」と設立された団体



真剣に耳を傾けるファイコンの子供達



タイ・ファイコン校にて
いわきの取り組みを説明



勉強に励むタイの中学生



完成した新校舎の前で

2013年12月、ファイコン校にてAEFAスタッフが「いわき市の中学生がどんな風に頑張ってるのか」を紹介しました。スライドを用い、カード運動・手作り木工品・Tシャツ作成・古本回収・募金など各学校の具体的な活動を紹介。ファイコンの児童生徒は真剣なまなざしで耳を傾け、「いつかいわきの皆さんにファイコンを訪問してほしい。直接、お礼を言いたい」、「中学に行くことができ、勉強を続けられることに感謝しています。私達もカレン族の手織物や、学校で栽培しているコーヒーで協力したい」などと語りながら、まだ見ぬ日本の友人に想いを馳せていました。

現在、ファイコンでは61名の中学生のほか、幼稚園から小学生まで262名が学んでいます。

いわき生徒会長サミット実践報告会～2013年12月21日 文化センターにて～

平第二中学校 根本直哉議長による総括「想いをカタチに・・・ワンコイン・スクールプロジェクトで建設されたファイコン中に贈る“モザイクアート”では、今期のテーマでもある【笑顔の世界の架け橋に】を表現しました。様々な活動を通して生徒会長はリーダーとして、積極性、表現力、他の学校とのコミュニケーション力、そして決断力と責任を学んできました。活動に際しては色々壁があり、悩んだけど、お互いに理解・協力しあい、乗り越えてきました。協力して下さったみなさんへ、感謝を伝えたい。でも、これがスタートラインです。夢に向かって、20年後、30年後のいわきに恩返ししたいです。」

※タイに学校を贈るプロジェクトは目標達成に向けて来年度(3年目)も後輩たちに引き継がれます。

※いわきの中学生達が想いをこめて作ったモザイクアートは、9月に現地に届けられる予定です！



タイ・ファイコン中へ贈るモザイクアート
(サミットメンバーの笑顔の写真を貼り合わせて、できています)

ひとこと

AEFA 10年目の挑戦:100人の先生を創る

2014年6月15日は創立10周年記念日である。9年間で173校建設した。AEFAの建設校で学ぶ生徒総数は2005年には8校・800名弱であったが、現在は173校(623室)・2万2千名を越えている。卒業生の数も9年間で2万人を越えたことになる。

AEFAの最大の特徴は交流事業であるが、日本の子供達の気付き学習・国際理解教育の支援も大きく発展した。出前授業は累計280回を数えた。特筆すべきは、昨年7月に東京都教育委員会から都内の各教育委員会宛に

AEFAの出前授業案内が出され、新規に都内32校で授業を実施できた。将に今昔の感がある。

AEFAの次の目標は「100人の教師の養成」である。学校を「生み・育て・見守る」から更に一步踏み出し、先生を生み・育て・見守る10年にしたい。ソフト支援資金集めの困難を乗り越えて、是非成功させたい。一方、日本では本気の先生達を糾合して、「熱血先生の会」を上げたいものだ。今年はその準備の年となろう。
(理事長 谷川 洋)

～タイ・ファイコン村&福島県・いわき市の中学生たち～



学校栽培の珈琲豆を天日干し

ファイコン校の1日は早く、夜明けと共に始まります。辺りが白む頃、先生と当番の上級生が朝食準備にとりかかります。寮生たちは寝床の整理と洗面を済ませ、きちんと列を作って配給を待ちます。まずは女子から、ついで男子がごはんとスープの朝食を受け取り、みんな揃ったところでいただきます。朝礼では、鼓笛隊の演奏(日本の学校から贈られたピアノ)、成績優秀者の表彰などが行われます。

子供を中学校に通わせているお父さん(写真右)から、お話を伺いました。「子供を学校に通わせるには現金が必要なので、畑仕事のほかに日雇い仕事もしています。成績が悪かろうとなんだらうと、絶対に中学は修了させるよ。そのためにも頑張って働かなくちゃね! せめて中学校を卒業して、少しでも将来の道を開く機会を与えたいよ。」



いわきの中学生と同じく、地域の将来への期待を感じながら勉強するファイコンの中学生。校舎完成後は、生徒同士の交流が始まります!

◆中学2年ラナーさん(カレン族)



いわきのみなさん、ありがとうございます。新しい校舎ができて、とってもうれしいです。皆さんのご健康と平穏と幸せを祈ってます。みなさん、お元気ですか?

◆パラメート先生(カレン族)

我々は、他の人を助けるということ、お互いに与え合うとはどういうことか..を学びました。いわきのみなさんが、この活動のために、日々の生活からさまざまな努力と献身をしてくださったことに、ファイコンの教員一同からも、感謝をささげます。



◆◆◆山岳少数民族カレン族の暮らすファイコン村◆◆◆

敬虔なクリスチャンが多いファイコン村。山深く、自然災害が起きると、道が通行できなくなることもしばしば。毎年秋になると、森を移動してくる象の群れが村にしばらくとどまるのだとか...

昔ながらのカレン族の自給自足の生活は、急速に進むグローバル化の中で失われつつあります。伝統野菜が、とうもろこしやトマトなどの換金作物に取って代われ、インスタントラーメンを好んで食べる若者たち。多民族国家・タイの社会の中で生きていくために必要な教育と共に、民族の伝統や文化を大事に守っていくことの重要性が増しています。

タイでは、毎週金曜日に民族衣装を着て学校に行きます。カレン族の手織りの衣装は、前から見ても後ろから見てもデザインが同じ。これは、【裏表の無いこと】を表し、カレン族の人々が何よりも義や信頼関係を重んじることを表します。



民族の伝統の織物を学ぶファイコンの生徒

2年目となる いわきの中学生の活動を紹介します

取組みやすいように、それぞれ工夫を凝らして「カード運動」を実施した学校が多くありました。中には、年間3回取り組んだ学校も。

各校より、次のようなコメントが寄せられました。
「タイと日本、同じ中学生なので、自分の頑張りや取組が相手のためになる..というのがとても励みになったようです」(小川中/佐野先生)。

「カード運動のフォームとして“すごろく”を手作りしました。生徒会立候補の公約にワンコインプロジェクトの達成を掲げるほど、根付いています。子供達の頑張りを教員はサポートしただけです」(好間中/竹原先生)。

「文化祭、中体連+定期テストなど、目標設定しやすいタ

イトル&目標設定期間を設けて取り組みました。生徒会から表彰も行いました。」(植田東中/園部先生)。

また、それ以外の活動として「【まずは知ることが大事】と、生徒会メンバーがタイについて調べ、山奥の村の子供の状況を校内放送で周知、募金活動につなげました」(植田中/小手森先生)という学校もありました。

生徒一人一人の頑張りの積み重ねで、段々と完成に近づくファイコン校の過程や、ファイコン中学生の写真も活動の励みになったそうです。

一方で、継続することの難しさ、取組への温度差、ACTIONを伴うにはどうしたらいいか、などの課題も先生方から挙げられました。



ベトナム ～ 学校建設の現場から ～

僕らの村に新しい学校
ができるよ。どんな
学校かな…



フンタン小学校デオテー分校
(旧校舎)



民族衣装を身にまとったザオ族の子供達

ハノイから北へ約200km。トゥエンクアン省の山岳地帯にはザオ族・タイ族などの少数民族が、伝統的な衣装を身にまとい、自然とともに自給自足の暮らしをしています。デオテー村の平均月収は約2800円、人々は林業や農業で生計をたてています。

デオテー村にある分校の現在の校舎は土壁でできており、長年の風雨にさらされ至るところがボロボロに…。冬には寒さでかじかむ手をこすりながら、子供達は一生懸命勉強しています。この村に子供達が安心して学べる新しい校舎を建設中です。

◆ソンヴァン小ゾックキエン分校

建設途中のひとコマ。

ベトナムのスタッフが建設の進捗状況を確認するために訪問すると、わらわらと子供達が集まり、後ろをついて工事中の新校舎の中を嬉しそうに一緒にチェックしてまわったとか。「新しい校舎で勉強できる日が待ち遠しいな～☆」



* 現場で頑張るスタッフ紹介 *

Saigon Children's Charity (SCC) 所属
グエン・ホアン・フンさん



* この仕事を始めたきっかけは？ *

大学でボランティア活動もしており、社会に貢献できる仕事に興味を持っていました。AEFAのベトナム南部での学校建設や日本の学校との交流を担当しています。

* やりがいを感じるのとはどんな時ですか？ *

ご支援者様と一緒に一つのものを作り上げられることがとても嬉しいです。また、学校が完成した時に、沢山の人が笑顔になるのを見るのが生きがいです。これからも日本・ベトナムの子供達、そしてご支援者の皆様のために頑張りますので応援よろしくお願いします！

いつも一生懸命で努力を惜しまず、笑顔が素敵なフンさん。ベトナムの頼りになる弟のような存在です☆

2013年、大型台風の到来や大寒波など世界中で異常気象が発生しました。ベトナムでも史上最多の台風が到来。中部クアンナム省では、平地では洪水被害が、山岳地では長雨による土砂災害などで道が寸断。AEFAの建設地の中でも一番奥のラオス国境近くにあるチューオム村は下界と8ヶ月もアクセスが途絶える状況でした。食料不足のため、少ないお米に塩をかけて食べていたそうです。乾季となり道はどうか通行できるようになったものの、今度は深刻な水不足に陥っており、子供達は毎日学校から1km山を下りて小川から少ない水を取り、重くなったタンク



を持ってまた山を登っています。トイレも水が使えず衛生状態が悪化。恒常的に水を手に入れることのできる深井戸の設置が急務となっています。

井戸のご支援お待ちしております！

■エルセラーン株式会社 ～竹越お母さんと呼んでください～

「エルセラーン1%クラブ」様のご支援により、ベトナム南部チャビン省でロントイB小学校の開校式が、真っ青な空の下、開催されました。少数民族クメール族が通う学校のため、子供達はクメール族の踊りを披露し、エルセラーン様はひなまつりの歌をお返しに。ご支援の中心となった竹越キャプテンがスピーチで、「私を日本の竹越お母さんと呼んでください。」と呼びかけると、子供達は大きな声で「お母さん！」と応え、その可愛い笑顔で会場中が温かい雰囲気になりました。



式典後には、子供達が住んでいる村の見学をし、式典中には感じられなかった子供達の厳しい生活環境を垣間見ることで、支援の意味を一層考えさせられたとコメントを頂きました。

【写真】

左下：黄色の新校舎と共に

右上：笑顔でお出迎えの子供達。待ちに待った開校の日！

右中：左から、糸谷副社長と竹越キャプテン

右下：見学した村の様子(平均月収7500円程度)





ラオスの学校 フォローアッププロジェクト ～様々な形の見守りで 学校を育てる～

MO様開校式～ハンプ小学校

2014年2月28日、ラオス南部の小さな村で開校式が行われました。ご支援者のMO様ご兄弟が参加、ご用意の文房具を一人ずつ手渡し、日本の写真やちょうちん、折り紙で子供たちとの交流を楽しみました。MO様の優しいまなざしで、子供一人ひとりに語りかける様子が印象的でした。



神崎敏彦様との交流会～ビエンカム小学校

2014年3月3日、2012年度建設校ビエンカム小に、ご支援者の神崎様が初訪問、村人・子供達と触れ合いました。村人たちは、「神崎さん」に会うことを2年前から楽しみにしていて、日本人が訪れると誰にでも「神崎さん！」と呼びかけていたのだそうです。神崎様からは、「皆さんの輝く未来のために、この校舎で一生懸命勉強してください。」と、メッセージがありました。



NPO法人class4every1様 ～ パチュドン校

中古のパソコンをリサイクル、途上国に支援する活動で、パチュドン校に15台をご支援頂きました。

3月の出張時に、そのうち10台を持参しました。鍵のかかる【先生の家】に保管。パチュドンモデル校とすべく、先生方に使い方の指導を行います。



ブナー統括校長(右)に贈呈

イルンのビッグパパ、訪問～石原拓一郎様

2006年の小学校建設から、コミュニティラーニングセンター、教材等継続してご支援頂いている石原様は、イルン村の【ビッグパパ】。4年ぶりの再訪問です。8年前に初めて村人集会を開いた、前村長さんの家を再訪したり、中学生に成長した子供達と再会しました。村人が養魚プロジェクトを興している、石原様は活気に驚いていました。



◆◆◆仙台市愛子小&ポンタン小◆◆◆

ワンコイン・スクール第1校目のポンタン小。交流校の愛子小より、毎年、アルミ缶収集の活動で寄金を頂いています。今年は不織布に半分ずつお互いに交流の絵を描きましょと、絵の具セットと作品が届きました。



◆◆◆高山秀子様～パチュドン校女子寮◆◆◆

女はどうせ結婚するから勉強しなくてもいい…との因習を徐々に破り、女子中学生が増えているパチュドン校。「さくらハウス」と名づけた女子寮の建設が進捗中です。



◆◆◆鈴木千恵子様～パチュドンに

新たな井戸をご支援◆◆◆

年々、生徒数が増えているパチュドン。幼稚園のすぐ近くに、井戸をご支援頂きました。手洗いの大切さを身につけます。



飯舘村 伊藤美智子様 ～ ドンニャイ校

「飯舘村は、全国から沢山の支援を頂いている。だからこそ、ラオスの子供達のために。」と、飯舘村建設支援のドンニャイ校を継続してご支援頂いています。昨年は「きのこハウス」と「電気敷設」、今年は運動用具や教材を届けました。



日本とラオスの交流のために～肥後良孝様

日本との交流事業に役立てて、とノートパソコンとプロジェクトアンプをご支援頂きました。肥後良輔様ご支援のラック33校に、弟の良孝様からのビデオメッセージが届けられました。海や鹿児島風景も収められていて、子供達は「海がもっと見たいな」「肥後さんのおうちが見たい」と、早くも次のビデオを心待ちにしています。





ラオスの学校 フォローアッププロジェクト ～様々な形の見守りで 学校を育てる～

津市立高野尾小学校 & ～ピアラー小学校

6年生の『会社を作ろう』の取組みで、今年はより多くの寄金が届きました。今冬の雪景色、さつまいもの収穫、合唱・楽器演奏など学校活動の紹介、子供達からラオス語のメッセージが収められたDVDも寄せられました。現地で一番必要なものに役立てて下さい・・・と、



寄 金 で 薬箱と運動用具を支援することができました。

イラストレーター かとーゆーこさん、ラオスへ！

- * 本当にあったお話をもとに、ラオスの子供を主役にしたオリジナル絵本を作成したかとーさん。AEFAの会報はじめ広報にも、イラストでご協力いただいています。
- * この3月、念願のラオス初訪問！絵本「タバンくんのともだち」の紙芝居を、一緒に読み聞かせました。

絵本の舞台となった
ナトゥール校にて



DRINK SUPPLEMENT様

ヘルシーなドリンクやスーパで人々の健康と心をあたためている同社。ラオスの子供達のために、浄水器のご支援を頂いています。



ラオス・
ガムアン校にて

中村洋子様～ブオンナム校井戸

- * 山岳地帯のため水が出ず、苦勞していたブオンナム校。新技術で深く掘削することができ、開校5年目にして待望の井戸がようやく完成しました。



HDP様のご支援～ブオンナム校他

- * 引き続き、スポーツ用具・ユニフォーム等のご支援をいただきました。今回はブオンナムの分校であるガムアン校にも持参、男子・女子チームに分かれ、ボール蹴りを楽しみました。



◆◆◆ ラオス・・・山岳地帯の子供たちの暮らしをのぞいてみたら！ ◆◆◆



新築の家の軒下には、魚取り用のカゴの形をしたお守りがたくさん。幸せがたくさん入ってきますように！との願いが込められています！

「セバタクロー」(ラオスでは、ガトーといいます)の竹製ボール。ラオスで人気のスポーツ！



教室の壁に象と鳥の絵！自然が豊かなラオスらしい！

竹で作った空気鉄砲！手作りおもちゃで遊びます！



(イラスト:近江兄弟社 吉良様)



◆ラオスの遊び「ブタとトラ(鬼ごっこの一種)」紹介します！



ブタさん、早く逃げて！

トラさん、来ないで！

ブタさん、待てー！

ブタ

トラ

- ・ブタ役の子が逃げて、トラ役の子がブタ役の子をつかまえます。
- ・他の子たちは手をつないで大きな輪になって柵を作り、ブタ役の子を守ります。
- ・柵は、ブタが出入りする時には通りやすくして、トラが出入りするのには防ごうとします。
- ・トラがブタをつかまえたら、おしまい。
- ・ベトナムでは「ネコとネズミ」という名前で、同じ遊びをしています！遊んでみてね☆

～ 2013年 建設校一覧 ～

	学校名	分校名	国名	民族	児童数	教室・設備	支援者(敬称略)
1	ソンヴァン	ゾックキエン	ベトナム	カトウ族・キン族	72	3教室+WC+井戸	エルセラーン1%クラブ
2	プラオ	アジン第3	ベトナム	カトウ族	85	5教室+WC+井戸	エルセラーン1%クラブ
3	チューオム(本校)		ベトナム	カトウ族	189	5教室+WC+井戸	アジアの子供たちに学校をつくる議員の会・日本財団
4	レド		ベトナム	キン族	312	4教室+WC+井戸	日本財団
5	クアンチュン中		ベトナム	キン族	234	4教室+WC	日本財団
6	アーダウ		ベトナム	カトウ族	87	3.5教室+WC+井戸	日本財団
7	ティエンカン	第6村	ベトナム	キン族	85	2教室+WC	エルセラーン1%クラブ
8	レロイ		ベトナム	カヨン族/ムノン族	100	3教室	袋井市ワンコイン実行委員会
9	スアンクアン	ナトイ	ベトナム	タイ族・ザオ族/モン族	57	3教室+WC+井戸	日本財団
10	フンタン	デオテー	ベトナム	ザオ族	107	3教室+WC+井戸	日本財団
11	チュンホア	ソイチン	ベトナム	タイ族	69	3教室+WC+井戸	日本財団
12	グエンチータイン		ベトナム	キン族/モン族/タイ族	2552	5教室	アースバンク倶楽部・銀河G・その他
13	ヴィンタン		ベトナム	キン族/ホア族/ヌン族	561	5教室	日本財団・ディアーズブレイン
14	スオイダーA	タンディン第2	ベトナム	タムン族	44	3+2教室+WC+井戸	日本財団
15	ロントイB	ディンフータン	ベトナム	クメール族/キン族	131	3教室	エルセラーン1%クラブ
16	ダックログ中(寮)		ベトナム	セダン族	145	8部屋+WC+台所食堂	草の根資金、日本財団
17	ニュー		ラオス	低地ラオ族/タオイ族	156	5.5室+WC+井戸+水タンク	ダイリキ株式会社
18	ハンプ		ラオス	スワイ族	66	3教室+WC+井戸	M.O
19	ブオンナム幼稚園		ラオス	タオイ族	21	1.5室+WC	高橋保子
20	ビエンカム中		ラオス	スワイ族/タオイ族	66	5教室	イートアンド株式会社ほか
21	ファパコー		ラオス	低地ラオ族	109	3教室	国際学校建設支援協会(REALIZE)
22	ノンテノイ幼稚園		ラオス	低地ラオ族	20	2室	国際学校建設支援協会(infinite connection)
23	サラワン教員養成短大		ラオス			台所 2室	谷川裕ほか
24	ファイコン中		タイ	カレン族	61	3教室	福島県いわき生徒会長サミット



◆ラオス(7校)◆

()内は支援者名、敬称略



ニュー小学校
(ダイリキ株式会社)



ハンプ小学校
(M.O)



ブオンナム幼稚園
(高橋保子)



ビエンカム中学校
(イートアンド株式会社ほか)



ファパコー小学校
(国際学校建設支援協会・REALIZE)



ノンテノイ幼稚園
(国際学校建設支援協会・infinite connection)



サラワン教員養成短期大学・台所
(谷川裕ほか)

ニュー小学校開校式 3月6日開催 ～ ダイリキ株式会社様

完成したばかりの新校舎に、高橋社長様、ラオガム郡知事ストーン氏、県副教育局長ブンタン氏らを迎え、盛大な開校式が開催されました。感謝のバナーの儀式や、綱引き・剣玉など、子供達との交流も楽しみました。



 ベトナム(17校)



ソンヴァン小学校ゾッキエン分校
(エルセラーン1%クラブ)



プラオ小学校アジン第三分校
(エルセラーン1%クラブ)



チューオム小学校
(アジアの子どもたちに学校をつくる議員の会・日本財団)



レド小学校
(日本財団)



クアンチュン中学校
(日本財団)



アーダウ小学校
(日本財団)



ティエンカン小学校第6村分校
(エルセラーン1%クラブ)



レロイ小学校
(袋井市ワンコイン実行委員会)



パタン小学校サトゥオン分校
(エルセラーン1%クラブ)



スアנקアン小学校ナタイ分校
(日本財団)



フンタン小学校デオテー分校
(日本財団)



チュンホア小学校ソイチン分校
(日本財団)



グエンチャーティン小学校
(アースバンク倶楽部・銀河G・ディアーズブレイン他)



ヴィンタン小学校
(日本財団・ディアーズブレイン)



スオイダーA小学校タンディン第二分校
(日本財団)



ロントイB小学校ディンフアン分校
(エルセラーン1%クラブ)



ダックログア中学校(学生寮)
(日本財団・草の根資金)



ファイコン中学校
(福島県いわき生徒会長サミット)

 タイ(1校)



2013年度 AEFAはこんな出前授業を行いました！ ～ 先生と一緒に作り上げる授業 ～



◆岡山県倉敷市立柏島小学校

交流校:ラオス

サラワン県サボン小学校

5 & 6年生対象。「ラオスの子供のためにできることはないか皆で考え活動しています」と、毎年募金活動に力を入れている柏島小。昨年は、この募金でサボン小に浄水器や文具を寄付し、その様子を出前授業で伝えました。

「活動を通じて、世界の状況を知り、自分たちが出来ることは何かを考え、行動にうつせるような子供にしていきたい。」(三宅校長先生)

活動を通じて
学び得る！



◆埼玉県さいたま市立植水小学校

交流校:ベトナム

チャビン省フーカンB小

6年生対象。1年に1度だった出前授業を、今年は先生のご希望で2コマ×2日に増やし、2回の授業の間に子供達が自らアジアを調べる時間を入れることで、より深みのある学習に繋がりました。子供達は受身ではない能動的な学びにより生き生きとし、自信を持って発表している姿が印象的でした。

【一学期】

AEFA出前授業 「ベトナムについて知ろう」

【夏休みの宿題】

アジアを調べよう

【二学期】

成果発表

AEFAからコメント



先生独自のワークシートで子供の好奇心を引き出す

能動的で
効果的な学習！

◆島根県奥出雲町立八川小

交流校:ベトナム

コントナム省グエンクエン小

全校対象。AEFAボランティアとしてお手伝いしてくれているベトナム人留学生のフェンさん。この日はアオザイ姿で、東京のAEFA事務所からスカイプを通して、八川小で出前授業。子供達はフェンさんに直接聞きたい質問を用意。ドキドキしながら代表児童が質問しました。遠く離れていても、こうして顔が見える国際理解の授業が可能です。

スカイプで
島根と東京を結ぶ！



◆東京都港区立御田小学校

交流校:ベトナム

クエンナム省レバンタム小

3年生対象。交流校であるレバンタム小の校長先生の息子(カンさん)が日本の大学に留学中なので、2012年からカンさんが出前授業を手伝ってくれています。お父さんの学校のこと、文化について、カンさんから直接聞く授業は臨場感に溢れ、子供達はどんどんと引き込まれていきます。ベトナム語で挨拶を覚え、様々な質問が飛び交い、異文化交流を肌で感じられる貴重な時間となりました。

ベトナム人留学生による授業！



AEFA交流校出前授業一覧(2013.1～2014.3)

月日	学校名	月日	学校名	月日	学校名
2/15	東京都目黒区立下目黒小	7/11	東京都板橋区立大山小	12/12	岡山県倉敷市立倉敷西小
5/17	静岡県袋井市立高南小	7/12	静岡県袋井市立浅羽南小	12/12	岡山県倉敷市立玉島南小
6/1	埼玉県筑波大学附属坂戸高	7/12	埼玉県さいたま市立植水小	12/13	岡山県岡山市立御津小
6/4	千葉県浦安市立浦安中	7/29	福島県いわき生徒会長サミット	12/13	岡山県岡山市立御津中
6/29	福島県いわき生徒会長サミット	8/29	北海道札幌市立美園小	12/16	埼玉県さいたま市立植水小
7/3	福井県勝山市立成器西小	9/3	東京都国立市立第七小	1/14	東京都港区立御田小
7/3	福井県勝山市立村岡小	9/5	東京都武蔵村山市立第十小	1/27	東京都港区立芝小
7/3	福井県大野市立乾側小	9/10	東京都港区立高輪台小	2/18	東京都目黒区立下目黒小
7/4	福井県坂井市立三国北小	10/28	東京都文京区立青柳小	2/17	島根県奥出雲町立八川小
7/4	福井県坂井市立丸岡南中	11/15	千葉県野田市立北部小	2/18	東京都港区立赤羽小
7/4	福井県坂井市立丸岡中	11/25	東京都武蔵村山市立第八小	3/12	静岡県袋井市立高南小
7/5	福井県坂井市立平章小	12/11	岡山県倉敷市立水島中	3/13	東京都武蔵村山市立第一小
7/5	福井県鯖江市立河和田小	12/11	岡山県倉敷市立柏島小		

人の役に立つ人間になろうとする心を養う東京都出前授業

昨年8月末に、東京都教育委員会のご理解とご協力により、東京都内の小中学校に出前授業の案内をお送りいただいた。結果として、4つの中学校と28の小学校で出前授業を実施。東南アジア(ラオスやベトナム)の山岳少数民族の子供達の暮らしや学校の様子をもとに、日本であたり前に、日常生活を送り、学校生活ができることに感謝する気持ちを養いながら人の役に立つ人間になろうとする心情を育てたいと考え、出前授業を行いました。

◆調布市立多摩川小学校

3年生(103名)、総合の学習「外国について調べよう」
多摩川小学校では、出前授業後、子供達が調べ学習に取り組み、その後の学習発表会では、子供達はアジアの民族衣装を着ながら、一人ひとりがラオスやベトナムの子供達の生活について生き生きと発表することができたそうです。



◆大田区立入新井第四小学校

4年生(59名)、道徳の授業。
4年生の社会科では、身の回りの生活の中で「水」について学習する。この学年では、その水の学習と今回の出前授業の内容を結びつけ、「きれいな水のないラオスの友達に『井戸』をプレゼントしたい。」と募金活動を実施。80,039円の善意が寄せられた。募金に協力してくれた方々に、クッキーやナン、手作りのお菓子を配るなど、子供達が自主的に動いての取り組みへと繋がっています。



◆新宿区立愛日小学校

6年生(31名)、道徳「国際理解」の授業。道徳授業公開日でもあり、保護者の方々も十数名来られており、子供達だけでなく、保護者の方々も熱心に聞いて下さった。保護者の方よりコメント「なんのために勉強するのか、なんのためにいい学校に入るのか、ちょうど中学受験で、子供と話していたところなんです。小学校卒業を前にして、今日のお話を聞いたことは、親子で考える良い機会になりました。」



◆世田谷区立経堂小学校

5年生(95名)、道徳「国際理解」の授業。「交流校になって継続してラオスの学校と交流したい」「友情のミサンガを作るので、今度ラオスの皆に届けて！」など子供達の積極的な活動へと広がりを見せています。



☆子供からの感想☆

日本では戦争もなく平和に暮らし、ひかめく安全な所で生活している私達は感謝を忘れているのではないかと思います。人のために自分ができる事をもっと深く考えてみたいと思い、これからは他の国へ目を向けて、よく知ることで助けることができるならば、もっとべんきょうしたいです。

(西葛西小学校5年生女子)

東京都教育委員会出前授業開催校一覧(2013.9～2014.3)

☆インターナショナルデー参加 ◎道徳地区公開講座等

月日	学校名	月日	学校名	月日	学校名
9/5	中野区立新山小学校	11/27	あきる野市立東秋留小学校	1/21	八王子市立宮上小学校
9/13	足立区立桜花小学校	11/30	稲城市立稲城第三小学校	1/23	◎福生市立福生第七小学校
10/4	立川市立上砂川小学校	12/4	足立区立弘道小学校	1/25	◎八王子市立第四小学校
10/9	世田谷区立武蔵丘小学校	12/6	◎杉並区立高井戸第三小学校	1/25	◎八王子市立鹿島小学校
10/18	調布市立多摩川小学校	12/9	八王子市立城山小学校	2/8	◎江戸川区立西葛西小学校
10/19	品川区立後地小学校	12/10	大田区立入新井第四小学校	2/10	昭島市立拝島第三小学校
10/21	◎足立区立関原小学校	12/19	渋谷区立松濤中学校	2/13	練馬区立橋戸小学校
10/22	日野市立日野第五小学校	12/21	☆港区立筈小学校	2/14	◎八王子市立下柚木小学校
10/30	荒川区立諏訪台中学校	1/14	世田谷区立経堂小学校	2/15	◎新宿区立愛日小学校
11/1	武蔵村山市立第二小	1/18	利島村立利島小中学校	3/10	あきる野市立屋城小学校
11/9	昭島市立拝島中学校	1/20	慶応義塾舎幼稚園	3/11	新宿区立落合第二中学校



第8回 AEFA フォーラム東京開催（2013年12月26日）

～ 新しい国際交流授業と一緒に考えませんか ～



アジアとの交流ってどんなことをするんだろう？そもそもアジア山岳少数民族の村ってどんなところ？電気も水道もない村の子供との交流っていわれても。。。？

そんな声を受け、今年は新しい形のフォーラムを企画開催しました。「自分達が交流の主体者になる」ことをテーマに開催。「アジアとの国際交流・国際理解の新しい・楽しい授業を作る」全員参加型の取り組みとしました。4グループに分かれて、アジアの民族衣装や写真、生活雑貨などの素材を使いながら、全く新しい授業を1から自分達で作るといいます。授業を実践することにより子供達の何を変えたいのか、目的とBEFORE/AFTERを明確にしました。

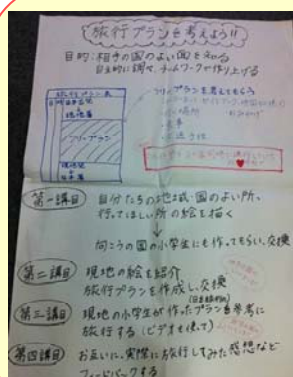
【発表例】

テーマ：旅行プランを考えよう

Before:相手の国のことを知らない

After:相手を深く知る、興味関心を増やす

目的:自分の国や地域を改めて知る良いきっかけとなる。相手の国の良い面を知り、相手の国について自主的に調べることで、より深く学ぶ。また、外国からの視点で、日本のどのような所に興味を持っているかを知ることで、新しい発見となる。



【麻布教育研究所 村瀬公胤先生よりコメント】

ワークショップを通じて、お互い発見しながら進める喜びがあった。4つのグループの共通点は、子供達を作り手、発信者として主人公にして、それを通じて国際理解教育を目指しているという部分だ。実践は一回だけでなく、確かなもの、確かな学びとすることが大事。発信者として主人公になった後の子供達は、能動的な受信者となり、国際的なセンスを身につけていくのではないかなと思う。



アジアとの交流、国際理解は決して難しいものではなく、自発的・内発的に、主体者としてまず【実践】してみることが大切なのではないでしょうか。AEFAの目指すことは、同じ時代に同じアジアに生きる子供達の生活を知ることにより、日本の子供達が自らの置かれた環境を振り返り、いのちの大切さを考える。なぜ学校に行くのか、なぜ勉強するのか、何のために生きるのか、子供達が自分なりの答えを自ら見出すための学びと一助となることです。これからも、様々な立場で子供・教育にかかわるみなさまと共に、実践を続けていきたいと思ひます。

福井フォーラム開催！ ～ つなげよう・広げよう AEFAの思いと活動 ～

2005年、ベトナムとの交流をはじめた福井県坂井市立平章小学校を皮切りに、県内8校がベトナムやラオスの学校と交流しています。しかし、郵便制度も無いアジアの山岳少数民族の僻村との交流は、年に1度の現地の学校との作品やりとりと、AEFAスタッフによる出前授業で、交流しているという実感をもちににくいのが現実です。

2013年12月24日平章小学校青木校長先生の呼びかけで、県内13小中学校、51名の先生方が集まり、末永くAEFAの交流活動を継続していくために、年1回の取り組みを活性化するために、教育現場で何ができるのかなどを話し合いました。



4グループで分科会



(右上、下)各校による活動紹介の掲示



福井県はAEFAの交流校が一番多い地域ですが、交流校同士の繋がりはありませんでした。今回のフォーラムでは交流校同士が連携協力することで、点から線へ、そして、活動が「面」へとつながり、互いにアイデアや意見を共有する貴重な場となりました。

今後もそれぞれの学校が考えていること、取り組んでいることなどの情報を交換し、人(教員)が変わっても、変わらずに学校に根づく活動につなげていきたいと思ひます。

トピックス～AEFA交流校にて～

★北海道初！！交流校誕生！

札幌市美園小学校 & ラオス・ラオガム小学校

2010年にラオガム小学校をご支援頂いた中西重敏様のご紹介で、地元・札幌の美園小学校との交流が始まりました。北海道初！の交流校誕生です。

まず、中西様をゲストティーチャーに迎え、ラオスの子供達の生活を紹介。早速、美園小から「ラオス語」で書かれた日本や札幌や学校を紹介する作品、はっぴ、手作りおもちゃなどが贈られました。お返しに、ラオガム小からは、植物の種で描いた作品が届きました！



★下目黒小学校 & ブオンナム小学校

今年度は、AEFAによる「ラオスを知る」授業を受けて、次は僕たち私たちの番！と、「日本・下目黒をラオスに発信する」作品を作りました。ラオスと日本、自分たちの暮らしとは「違う」ところもたくさんあるけれど、同じ時代を生活している仲間ということ学びました。

保護者参観日当日は教室がラオスと日本の手作り国旗で飾られラオス一色。ブオンナム小への作品を発表、託されました。ラオスでは蛙を食べると聞いて驚いた下目黒の子供達。今度は日本からタコを紹介。海のないラオスの子供達は初めて見るタコに驚くはず！



★長野市大岡小学校 & ラオス・トンコー小学校 ～長野篠ノ井ライオンズクラブ様の応援で

2008年にラオス・トンコー小学校を建設支援。交流校として地元の大岡小学校と結びつけ、学校菜園で子供達が栽培した大根の売上寄金で、トンコー小の教材や運動用具などをご支援頂いています。年に1度の大岡小での出前授業も、ライオンズクラブの皆様がご協力くださり、地元根付いた活動となっています。



2月12日、AEFA事務所にて「アジアを知る勉強会」を行いました。ゲストスピーカーの近江兄弟社様からはラオス支援の想いを、交流校である芝小学校椎野先生からはベトナムとの交流を通じた子供達の変化などをお話いただきました！ご興味のある方はぜひ次回ご参加ください。



水牛は大事なお友だち～ベトナム農村の風景より～

水牛の寿命は約25年。生後2～3年で、鋤(すき)の引き方など畑仕事を教え始めます。丈夫な水牛なら20年は働いてくれます。昔のお百姓さんにとって水牛はとても大切だったので、ベトナムの人達はこんなことを言いました。「人生の三大行事は、水牛を買うこと、結婚すること、そして家を建てること」ベトナム人にとって水牛は他の動物より特別な存在で、国を象徴するものの1つになっています。

水牛の最も大切な役割は、労働力としてです。畑を鋤(すき)で耕すのは、農作業の中でも1番大変な仕事です。日が照りつける日中か雨が降る中での作業なので、体力も忍耐力も必要です。でも、力持ちの水牛さん達のお陰で、人が重い木の板で泥土を掘り返しながら進む、きつくて危ない作業をしなくてすむようになったのです。その結果、お百姓さんにとって水牛は重労働から解放してくれる大事な財産となりました。最近では、トラクターを使って農作業をしている所もありますが、特に北部や田舎の方では今でも主として水牛が畑仕事を手伝っています。

水牛は、長い間、勤勉さや我慢強さといった特質を備えたベトナム人の象徴でした。農村地帯では、子供たちが毎日世話をするので、子供と水牛は大の仲良しです。水牛は、労働力であるだけでなく、ベトナム人にとって、大切な友だちであり、非常に身近で愛すべき存在なのです。



◆ AEFA往来 2014.1～2014.3 ◆

- 1月 ● 会報17号発行(7日)
2月 ● AEFA勉強会(12日)
● ベトナム・ロントイB小学校開校式(25日)
● ラオス・ハンプ小学校開校式(28日)

- 3月 ● ラオス・ビエンカム小学校交流会(3日)
● ラオス・ニュー小学校開校式(6日)
● AEFA理事会(13日)
● AEFA総会・会報18号発行(26日)



同じ時代を生きるアジアのお友だちのために～学校活動より～

岡山県倉敷市立玉島南小学校ではアルミ缶回収活動により、ベトナムの子供達の夢を応援しています！月曜日に運営委員さん達が校内放送で呼びかけ、火曜日の朝、校門で回収。缶を潰して、重さを量り、袋につめる作業をし、業者に買い取ってもらった資金を積み立てています。何年も継続している取組みなので、地域の人達も協力してくれています。

2013年度は、ベトナムの3人の子供達が1年間学校に通えるようになりました！「日本のお友達が応援してくれている」ということは奨学生にとっても学び続ける励みになっています。



玉島南小

みんなで協力してアルミ缶を潰す



ゴクさん

ティエン君

チェウ君

元気に学校に通っています！！

遠く、遠く離れた日本のお友達へ

僕のふるさとには沢山の湖や川があって、ココナッツやマンゴー、ジャックフルーツなどの果物畑が広がってます。放課後は、友達と凧揚げをしないにいくよ。土手に寝そべて、空に飛ぶ凧を見ながら、大人になったら何になろうかなと将来の夢を考えたり、もっともっと勉強をがんばらなきゃいけないと自分に言い聞かせたりしています。日本の皆さんのお陰で、今年も一年間学校に通えることになって、本当に嬉しいです。

大きくなったら僕は歌手になりたいとひそかに思っています。そうすればいろいろな所に出かけて、みんなのために歌えるからです！

グエン・チャン・チェウ（5年）より

AEFAではベトナム南部チャビン省において、奨学金支援を行っています。小・中学生15000円、高校生25000円(年間)のご支援で、子供達の生活環境を整え、学校に行く夢をサポートできます！

近江兄弟社様 山岳地帯の分校活性化プロジェクト

ラオス・サラワン県でも最も貧困度の高い、山岳地帯タイ郡の分校の校舎修理、机・椅子、不足している教材、少数民族の生徒が教員となるための奨学金のご支援を頂きました。村人たちも製材や修理事業に協力。剥がれた壁や、壊れた窓枠を修理。また、待望のメンタムなどもご支援頂きました。薬箱として、竹かごを村人たちが手作りしました。



机椅子が入ったトラウトンテン



剥がれた壁を修理中
村分校。クム先生も笑顔。



薬箱を手に

株式会社ブロードウェイ様～浄水器、教科書

「ぼくたちの友だち、ラオスの子供達のために」と、毎年教育環境整備のご支援を頂いています。昨年度は浄水器で安全な水を、今年度は「教科書プロジェクト」として、3000冊をご支援いただきました。建設ご支援校のノントウム小からも、「ぜひ私たちの学校を訪問してください」とのメッセージが届きました。



AEFAより会員の継続のお願い

2014年、AEFAは10周年を迎えます。これも活動を応援頂いている皆様のお陰です。厚く御礼申し上げます。単に学校を建設するだけでなく、建設後も、奨学金、先生の育成、日本の学校との交流など、継続して見守るのがAEFAの特徴ですが、このようなソフト支援にはご支援が集まりにくいのが現状です。引き続き、皆様のご理解とご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。



**株式会社ホームページ様のご協力により
ホームページが生まれ変わりました！**



**2014年、日本財団
ご支援の
「ベトナム100校」
が完成します！**

認定NPO法人 アジア教育友好協会 AEFA (アエファ) Asian Education and Friendship Association
〒105-0014 東京都港区芝3-3-10 芝園オーシャンビル8F

TEL 03-6426-0720 FAX 03-6426-0721 Email: asia@nippon-aefta.org URL: http://www.nippon-aefta.org